

青推協だより

発行日 令和6年11月
発行者 豊田市青少年健全育成推進協議会
豊田市西町3丁目60番地
豊田市こども・若者政策課内
Tel. (0565)34-6630

少年の主張愛知県大会

令和6年度少年の主張 愛知県大会が8月23日(金)に新城地域文化広場で開催され、豊田市からは小原中学校3年 横目 芽里奈さんが選ばれ、出場しました。1番目の発表でしたが、緊張することなく堂々としていて、豊田市の代表としてとても立派な発表をされました。

【これまでの経緯】

- ◆6月 8日(土) 豊田市民文化会館小ホールにて豊田市中学生の主張発表大会を開催
優秀賞5名を推薦
- ◆7月 2日(火) 西三河地区作文審査会にて愛知県大会代表を決定
- ◆8月23日(金) 新城地域文化広場にて少年の主張 愛知県大会 開催
(発表者14名のうち豊田市から1名出場)
☆小原中学校 横目 芽里奈さん 『幸せを届けるために』 奨励賞
※賞の内訳: 最優秀賞(1名)、優秀賞(4名)、共感賞(1名)、奨励賞(全員)

スマホ利用の啓発チラシをリニューアルしました!

2015年2月より、青推協と市P連の共催で「豊田のルール4か条」としてスマホ利用の啓発チラシを発行してまいりましたが、このたびスマホの利用方法も変わってきており、現状に即した啓発をしていくため、リニューアルいたしました。



← 表面

裏面



裏面には主に下記のようなことが書かれています。詳しくは下記QRコードをご参照ください。

ダメ!! 危険なスマホ利用 ~家庭でのルール作りのススメ~ 各家庭でのスマホルールの作り方 「簡単3ステップ」

- ① 家族で話し合いながらルールを決めよう
- ② ルールに沿ったツールを活用しよう
- ③ 年齢や利用状況を見て定期的にルールを見直そう



← 詳しくはこちらを!



3 年齢や利用状況を見て定期的にルールを見直そう
インターネットを多く利用するに従って変化しているため、新たな手法の出現やトラブルに巻き込まれないよう定期的なルールの見直しが必要です。
【問合せ先】 豊田市こども・若者政策課
【電話番号】 0565-34-6630 (メールアドレス) kowake@city.toyota.aichi.jp

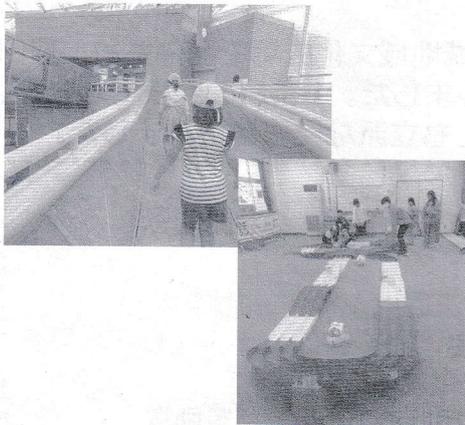


各地区の青少年育成事業活動紹介

青推協では、各地区における青少年の育成事業を行っています。「話してつなごう 家族のわ」をスローガンに、青少年の健やかな成長とそれを支える地域社会づくりを促進します。

抜粋した3地区での取り組みの様子をご紹介します。

☆「児童センターで学ぼう」「あさひまつり 2024」 旭地区



8月4日長久手市にある愛知県児童総合センターで、親子参加による、視察研修を実施しました。子どもたちは施設内のプログラムに沿って大いに遊んでもらい、「とても楽しかった」と感想をもらいました。部会員は施設見学を通して、イベント発案や企画ヒントがたくさん得られ、今後の地域活動に大いに役立てられそうとのことで、とても有意義な研修になったと好評でした。

11月3日には旭交流館周辺で「あさひまつり 2024」が開催されます。モルック体験、水消火器体験やスタンプラリーなどいろいろなイベントが企画されている中、青少年部会は、昨年につき WRC 啓発の一環として、ミニ4駆のレーシングコースを作り、親子で楽しんでもらう予定です。(写真(下)は昨年の様子です。)

☆「社会を明るくする運動」「野外課題活動」 保見地区

6月15日保見交流館多目的ホールにて“社会を明るくする運動”を行いました。

小中高生6名による地域を明るくしてくれる力強い意見発表と共にアトラクションの部では WE LOVE とよたのサポーターとしても大活躍している豊田大谷高校ダンス部による演技を披露していただき、大盛況で無事終わることができました。

8月9日には野外課題活動として、小学生を対象に愛知工業大学の学生によるロボットミュージアムを開催していただきました。教授より人間とロボットとの関りをはじめ、学生たちが手掛けて作成したロボットに子どもたちも興味津々でした。特に水中を優雅に泳ぐマンタロボットには実物の動きと同じで、感動と共に時間を忘れるほど楽しむことができました。

保見地区の子どもたちの健やかな成長とそれを支える地域づくりに今後も推進していきます。



☆「小中学生の意見発表」「新春凧あげ大会」 前林地区



7月6日(土)に「小中学生の意見発表」を開催。堤小学校2名、駒場小学校2名、前林中学校6名の代表者が、家族、学校、地域の方との関わりなど身近な出来事を通して考えた意見を発表。新鮮な切り口の意見や提言に気持ちを新たにしました。

また、来たる1月26日(日)には「第29回新春凧あげ大会」を開催予定です。コロナ禍で2年間中断した際は存続か廃止かの議論も飛び交いましたが、昨年度は参加者50名、同行者110名の規模まで回復。手作りの凧を手に前林中学校グラウンド内を走り回る親子の姿や、多世代の皆さんが楽しそうに談笑している姿は、いつ見ても嬉しいものです。大会の最後には40枚の凧を横に繋げたアーチカイトをこどもたちの力を借りて空高く上げます。是非ご来場ください。(写真(下)は昨年の様子です。)

